



「障害児教育」1回目を終えて・・・

校外学習も終わり、今週の18日と22日の道徳などの時間を使って「障害児教育」をします。18日に1回目の学習がありました。第1回目は、林先生から今回の学習についての説明があり、その後はビデオを鑑賞しました。

「心の音色を伝えたい」

～難聴ダンサー 西畑 絵里～

1歳の時に難聴となり、5歳でバレエと出会う。ダンスにのめり込み、その後ダンスの名門高校に進学。聴覚障害を抱えつつも努力し続け、友人たちに支えられながらレギュラーを獲得、全国大会で優勝する。その後はダンススクールを開校し、子どもたちにダンスを通じて努力する事の大切さを伝えている。

*ビデオ鑑賞後のワークシートより・・・

●西畑さんの言葉の中で印象に残った事はなんですか？

- ・できるかできないかの問題じゃなく、やるかやらないかの問題
- ・夢は叶うとは限らないけど、頑張った事は宝物になる。
- ・失敗してもいいから一生懸命すること
- ・やるのかやらないのかは自分次第
- ・私はひとりじゃなく、みんながいる。
- ・私のとなりにはあなたが、あなたの周りにはみんながいる。
- ・努力すれば何でも出来る。 ・最後まであきらめない



●ビデオに関する感想や考えの変化など

- ・ビデオを見て、もっと障害を持つ人を助けてあげたいと思います。
- ・障害を持っている人は自分よりも何倍も努力しているんだと思った。
- ・音が聞こえないのにダンスができるのはすごいと思った。
- ・部活や勉強でもあきらめずに頑張れば出来るんだと思った。
- ・困っている人がいたら助けてあげようと思った。
- ・耳に障害を持っていても努力をすれば普通に喋れるようになる事がわかった。
- ・心で伝わることもあるんだと思った。
- ・私たちにできることは何か考えてしたいと思いました。
- ・障害があるからといってあきらめないのがすごいと思いました。
- ・障害を持つ人にもやさしく、いろんな事を教えてあげられたらと思った。
- ・一緒に頑張って、優しく接していきたいと思った。
- ・障害のある人はすごく苦労しているけど、周りにも人たちは苦労しているんだと感じました。
- ・相手が障害を持っている、持っていない関係なく全力で向き合う。

- ・西畑^{にしはた}さんがダンスの音楽^{おんがく}をどんなふう^{かん}に感じているのか気^きになった。
- ・とても真剣^{しんけん}に見^みれました。自分の出来^{でき}ることを頑張^{がんば}っていてすごいと思いました。
- ・困^{こま}っていたら出来^{でき}る限^{かぎ}りのことをし、その人の事^{こと}をかんがえて行動^{こうどう}しようと思いました。
- ・障害^{しょうがい}を持^もっていてもたった一人^{ひとり}の人間^{にんげん}だ！！
- ・自分^{自分}ももっと頑張^{がんば}らないといけないと思^{おも}ったし、障害^{しょうがい}を持^もっている人が困^{こま}っていたら声^{こゑ}をかけてみようと思^{おも}った。
- ・障害^{しょうがい}を持^もっている人にも出来^{でき}ることはたくさんあ^あって、努力^{どりよく}すれば障害^{しょうがい}を持^もっていてもできる。
- 私^{わたし}達^{たち}と違^{ちが}うんじゃなく、私^{わたし}達^{たち}より少^{すこ}し苦手^{にくて}な事^{こと}が多い^{おほ}んだと考^{かんが}えればい^いと思^{おも}った。
- ・耳^{みみ}が聞^きこえないのにダンサー^{ダンサー}を自^め指^さした事^{こと}がすごいと思^{おも}った。
- ・私^{わたし}はすぐにあきらめてしま^{しま}うので、あきらめず^{なん}に何^{なん}でも挑^{ちょう}戦^{せん}する^{たいせつ}ことが大^{だい}切^{せつ}と思^{おも}った。
- ・障害^{しょうがい}を持^もっていても、人^{なん}より何倍^{なんばい}も努力^{どりよく}したら出来^{でき}る事^{こと}もある。あきらめない心^{こゝろ}が大^{だい}事^じ。障害^{しょうがい}を持^もっている人^{ひと}は人^{ひと}一倍^{いちばい}努力^{どりよく}しているんだと思^{おも}った。
- ・障害^{しょうがい}を持^もってい^いながら必死^{ひっし}に頑張^{がんば}る西畑^{にしはた}さんは、ダンサー^{ダンサー}として、人間^{にんげん}としてのお手本^{てほん}だと思^{おも}った。前向^{まえむ}きに頑張^{がんば}ればその努力^{どりよく}が絶^ぜ対^{たい}に次^{つぎ}につな^{つな}がる^{ほんとう}ということが本^{ほん}当^{とう}だとわ^わか^かった。
- ・障害^{しょうがい}を持^もつ人^{ひと}ともこれま^までよりもも^もっと接^せしてい^いきたいと思^{おも}った。
- ・足^たりない部^ぶ分^{ぶん}があ^あればそこをカバ^かーで^{なか}きる^{たの}ようにな^{いっしょ}って、仲^なよく、楽^{たの}しく一^{いっしょ}緒^{しょ}に過^すご^ごせるようにな^なりたい。
- ・障害^{しょうがい}があ^あっても、今^{いま}を一^{いっ}生^{しょう}懸^{けん}命^{めい}生^いきている事^{こと}が
- つた^{つた}伝^{でん}わ^わった。
- ・障害^{しょうがい}というものをも^もっと考^{かんが}えてい^いかなあ^あか^かん^んな^なと思^{おも}った。

